

現代文理解の問題点
高 校 生 の 語 彙 の 実 態
— 語 彙 調 査 の 結 果 報 告 —

国語科教官共同研究
報告者 丸 尾 芳 男

昨年度は、現代国語の語句 600 語について行なった語彙調査の結果を報告したが、今年も、昨年と同様の方法によって別の 600 語について実施した結果を加え、昨年度の分と合わせて 1200 語の理解の実態を考察した。

(一) 調査の目的

現代文の理解には、語義・字義の的確な把握が基礎となるべきであるが、一般に生徒はこれを軽視し、外国語学習の場合ほど辞書を利用せず、通俗的・概念的把握をもって能事終わりとしている傾向が見受けられるので、その理解の実態を確かめて指導の参考に資するとともに、生徒の語彙への関心を高めることを目的とした。

(二) 調査の対象

高等学校第二学年生徒（男子）4 学級。

（39年度167名、6 回延実数917名。40年度176名、6 回延実数1038名）

(三) 調査の時期

昭和39年 9 月～10 月、および昭和40年 5 月～7 月。

(四) 調査の資料

国立国語研究所長岩淵悦太郎氏著『国語の力を増しましょう』（昭和38年、日本リーダーズ・ダイジェスト社発行）所収の1200語。

本書は、その凡例によれば、「言葉についての自分の力をためし、かつ、言葉についての力を増して行くのに役立つように、仕組んだもの」であり、月刊「リーダーズ・ダイジェスト」誌上に5年にわたって連載されたものに手を加えたものである。「1 回分に単語または句を20題あげてある。そこにある選択肢によって自分の答を出し、解答欄にあるものと照らし合わせる。」という形式で、全部で60回分1200語を収めてある。

毎回、漢語・外来語・俗語等が適宜に按配されていて、語種別に規制されたものではなく、特定の標準に拠ったものでもない。大部分は現代国語であるが、一般の成人を対象として雑誌に連載されたものであるから、多少クイズ的な風俗語や、古風な用語も含まれている。

(五) 調査の方法

如上の 1200 語を、100語ずつ12回に改編・分載し、正解を含む 4 つの選択肢（底本のまま）を付した調査用紙によって、学級ごとに、国語の授業時、または、ホーム・ルーム、自習時間等を利用して、生徒に解答させた。1 回分の所要時間は、当初は40分を予定したが、実際には各回約20分で完了した。39年度に前半の 6 回分を実施し、40年度に後半の 6 回分を実施した。

(六) 結果の整理

(イ) 各回100語を100点満点として採点・集計した。

39年度 6 回分平均得点 63.5（個人の最高平均 84.0 最低平均 35.5）

40年度 6 回分平均得点 72.7（個人の最高平均 92.7 最低平均 45.2）

12回分総平均得点 68.4

(ロ) 非正答率（誤答・無答数の百分比）による語句の分布表を作製し、理解度の高低がどのような語について見られるかを考察した。〔第一表・第二表〕

(ハ) 非正答（誤答・無答）が著しいかたよりを示すもの——4 つの選択肢の中、1 項目の誤答が 30%を越えるもの、または、無答が30%以上あるもの——が 271 語あった。これを、語種別・

類型別に分類し、かつ、非正答率順に配列した。〔第三表・第四表〕

(イ) 語種は次の3種に整理した。

1. 漢語 (故事成語・漢語調の句・和製漢語を含む。)
2. 外来語 (和製外語を含む。外来語まじりの熟語・慣用句は3にいれる。)
3. 和語・俗語 (故事成語以外の慣用句を含む。)

(ロ) 非正答の類型は、次の2類6種に規定した。

第一類 理解の動揺しているもの

(A) 語義(字義・典故)の理解が不的確・不徹底で、周辺の・近似的把握にとどまるが、場合

〔第一表〕 非正答率による語句の分布 (1) 漢語(故事成語・漢語調の句・和製漢語を含む)

% No	90	80	70	60	50	40
1			門前雀羅を張る 77.0 還暦 75.2 麦秋 72.1 恵存 71.5 当用 70.9	岳父 69.1 書札 69.1 青史 63.0		
2	五風十雨 96.1	秋霜 85.0 月下冰人 84.3		自家藥籠中のもの 68.0 年齒 66.7 言質 62.7 仙骨 62.1 羊腸 62.1	台頭する 58.8 舌代 58.8 雁行 55.6 唇齒 51.0 指彈 51.0	風致 45.1 雲水 45.1
3	侃侃諤諤 92.8 国手 91.5 緑林 90.8	丹青 87.6 事大主義 87.6 尤物 85.0 一言居士 83.0 江湖 81.7	出藍 75.2 黄白 70.6	袂をわかつ 63.4 開山 70.1	令室 54.9 水魚のまじわり 51.0	華燭 47.1
4	布衣 96.1 口銭 94.8	一目見ぬ 89.5 漏刻 87.6 汗牛充棟 86.3 二千石 84.3 法語 84.3 半風子 84.3 黄口児 83.0 尚齒 82.4	秦斗 79.7 流連 77.8 秋波 73.9 荒唐 73.2	骸骨を乞う 69.9	磊落 59.5 破天荒 54.2 秋水 50.3	巷説 44.4 針小棒大 40.5
5	商議 96.0 蒲柳 90.6	莫逆 89.7 連座 82.5	刀圭家 77.6 三舎をさける 77.6 東道 76.4 月旦 74.1 猶子 71.8	候鳥 67.8 大乘的 67.1 隱田 66.6 黄泉 61.8 急先鋒 61.0	逸話 55.0 深更 53.7 無頼の徒 53.2	挽歌 48.2 牛耳をとる 47.7 独白 43.8
6		白面 81.9	銀漢 79.2	妍をきそう 68.1	備荒 53.5	糊塗する 47.9

によって許容され得るもの。

(B) 概念的把握によってある程度の接近を示しているもの、または、通俗的誤用・転用の無自覚的受容と認められるもの。

第二類 理解の届かないもの

(C) 同音異義または同訓異義を混同したもの。

(D) 連想的・半可通的・民衆語源説的こじつけ、あて推量で、(C)以外のもの。

(E) 抛りどころがなく、飛躍の甚だしいもの。

(F) 無答のもの。

30	20	10	未	満	% Na
好事家 37.0 未曾有 37.0			暖色 6.7 落丁 6.7 白眼視 6.1 季刊 5.5	風聞 3.6 一目散 2.4 三面記事 1.2 白書 1.2	1
吳越同舟 36.6 鉄面皮 35.3 長広舌 31.4 雲散 31.4 焦眉の急 30.1	遊説 29.4 星霜 27.5 失脚 25.5 竜頭蛇尾 21.6 巨頭 20.3	下足 19.6 元旦 13.1 比肩する 11.1	惡事千里 10.5 登竜門 9.8 蛇足 9.2 屈指 7.2	処女峰 0.7 汚職 0.7	2
赤手 38.6 温泉 37.3	青雲の志 25.5	独壇場 13.1	土足 9.2 光陰 9.2 紅一点 7.2	自画自賛 5.9 四面楚歌 2.6 一石二鳥 0.7	3
建材 38.6 庭訓 37.9	老婆心 24.8	太公望 17.6 寸劇 17.0 資源回収員 12.4	華僑 8.5 漁夫の利 5.9 自弁 5.9	日常茶飯事 5.2 文盲 3.3 亡命 1.3	4
羊頭狗肉 36.9 片鱗 34.4 獺官 33.3	而立 27.0 合点 25.8 便衣 23.5	間道 10.3	指南 4.5 定年 4.0 他力本願 3.4	白眉 2.8 舶来品 0	5
奉加帳 39.6	金輪際 27.1	客死 19.4	動静 9.0		6

No %	90	80	70	60	50	40
6			尺牘 78.5 通事 77.8 奢宿 72.2	側隠 66.7 鳥目 62.5 形而下 61.1	竹帛 52.8	耳順 46.5 逐鹿 45.1 梁上の君子 41.0 漁色 40.3
7			数奇 79.4	頓服 69.7 完膚なし 61.1	散策 59.4 公算 53.7 公寒心 50.9	管見 48.6 禁足 47.4 凍結 44.0
8		寸鉄 85.5	奇貨 77.3 上梓 73.3 膾炙する 71.5	鳩首 68.6 左袒する 61.6	咫尺 54.1	偽悪 48.3 鯨波 47.1 星辰 40.7
9	木鐸 90.7	点心 82.6	先途 73.8 猜介 70.9	露頭 65.1 揮毫 65.1 疑獄 64.5 蜂起する 64.0	上乘 54.1 皮相的 53.5 遜色 52.9 椿事 51.2	割烹 48.8 糟糠の妻 48.3 経口 48.3 物議 47.7 伴食 43.0 龜鑑 40.1
10			破鏡 79.1 角逐 75.1 私淑する 75.1 旧臘 73.4 確執 72.8	疑心暗鬼 68.2	掉尾 57.2 懐柔する 51.4 司直 50.8	高足 43.9 極印をおす 43.3 真率 41.0 好角家 41.0
11	致仕 91.9	油然 83.2 先考 80.9	撞着 78.6 什器 77.5 健啖 76.9 等閑 75.1 袖珍本 72.8 天衣無縫 71.8	烏有に帰する 67.1 樞妻 64.7 素封家 64.7 権柄づく 64.1 徒長 63.0 迎合する 60.7	枢機 56.6 鯨飲 56.0 旗亭 53.2 刎頸のまじわり 51.4 唇咳に接する 50.2	標榜する 44.5 不如意 43.9 冠水 42.8
12	稗史 93.1	牙城 89.0 独参湯 86.7	狭斜 76.9 伝単 76.9 鼓吹する 74.6 氷積 71.7	関頭 69.9 差配 64.2	仄聞 53.2	嘉辰 46.8 喧伝 43.4

30		20		10		未		満		% No.
沙門 33.3 文民 30.6				家憲 18.1 着服する 17.4 外貨 14.6			定石 5.6 殺到 0.7			6
食言 36.6 桃源郷 35.4 故山 33.8 短兵急 30.2	親展 27.4 逐電 27.4 雪辱 20.6		葛藤 18.6 風物 13.1	弱冠 12.0		虎視眈眈 8.0 食客 6.3	寒村 5.7 螢雪の功 2.9			7
乱心 34.3 稚気 33.1	保身 25.6 因業 25.6 輪廻 21.5		附会 19.2 骨子 18.6 庄巻 17.4 馬食 15.1	不倫 13.4 蜜月 12.2 得心 12.2 走馬灯 11.6 破廉恥 10.5		杞憂 5.8 無軌道 4.7 童心 3.5 尺度 2.9	肉薄 2.3 有頂天 1.2 衛星都市 0.6 貫禄 0.6			8
軽便 39.0 難色 31.4 口碑 31.4 画餅 30.8	健忘 27.3 消長 27.3 雷同 26.2 先鞭をつける 26.2 雷名 24.4 雷柱 24.4 雷白 20.9		豹変 18.6 物情 18.6 棟梁 11.6 腹心 11.0			迫真 9.3 意表 9.3 垂流 8.7 上司 8.1 黒白をつける 7.0 無骨 6.4	下剋上 6.4 物色する 5.8 追伸 3.5 優先 1.2 行楽 0.6			9
釈然とせず 36.9 領袖 35.2 歴訪 33.5 拳止 32.3 散発する 30.0 紅毛 30.0	去就 27.1 応需 23.1 方便 21.3		醜態 19.6 如実に 16.1 常套 16.1 起草 16.1 烙印をおされる 14.1 踏襲 11.5	露呈する 10.9 草駄天 10.4		弾圧 9.8 会心 9.2 老舗 8.5 私腹をこやす 8.6 打算的 8.0 私服 4.6	頓知 3.4 風潮 1.1 伝道 1.1 脱皮 0.5 宿敵 0			10
私語 33.5 成算 32.9	長袖 28.3 圭角 26.5		対照 19.6 直言 12.1 老臉 11.5			清算 9.8 鼓舞する 9.8 唐突 7.5 重宝 6.3 歴然 5.7 万全 5.7 張本人 4.6	専攻する 3.4 左遷 2.8 非行 1.7 飼育 1.7 軌道に乗る 1.1 必需品 0			11
屈託 37.0 洗脳 37.0 雌伏 34.7 舌禍 31.8 荷担する 30.1	伏魔殿 23.7 奇禍 23.7 放縦 21.4		金字塔 18.5 具眼 17.9 伝家の宝刀 17.3 苦杯 15.0 忙殺 13.3	懸案 12.1 赤貧 11.6 語弊がある 11.6 零落 11.0		嘴矢 9.2 猪口才 8.7 縁起 5.8 摘発 4.6 執念 4.6	為政者 4.0 即席 0.6 面子 0.6 目撃者 0 発足 0			12

非正答率による語句の分布 (2) 外来語 (和製外語を含む)

№ %	90	80	70	60	50	40	30
1		サンフォライズ 83.0				ジグザグ 41.2	ハイカラ 33.3 パニック 32.2
2			ヴィオロン 74.5		スペクトル 58.2		
3							
4			ベデカ 73.2	アド 69.6 サスペンス 60.8	莫大小 59.5 セクショナリズム 56.9 シノニム 55.6	アンケート 48.4 スタンド・プレイ 41.2	ベッド・ハウス 38.6 ファイア・マン 30.7
5			クレーム 78.5 リベート 77.9	ユース・ホステル 68.8 エスプリ 62.4		ティーン・エイジャー 49.1	ホステス 33.6 プロフィール 32.9
6				ドグマ 65.3	テケツ 56.3 フロック 54.6 シック 58.5 ページ 53.5		バーゲン・セール 38.9 セコハス 30.6
7						フランク 44.6 ファッション 42.9	
8				ハイツ 68.0 ブック・メーカー 64.5	ラシャメン 50.6		ラッシュ 33.1

20		10		未 満			% №
ギヤマン 29.1		アリバイ 10.3		ローカル・ カラー 1.8	ギャング 0.6		1
				ノスタルジ ア 9.2	バンガロー 3.3		2
				フット・ラ イト 5.9	パントマイ ム 1.3		
ホワイと・ カラー22.9		ダーク・ホ ース 15.7		ブラック・ リスト 1.3	ワンマン 0		3
		スポークス マン 15.0		デルタ 1.3			
バイヤー 28.8		コミュニケ 13.7		パトロン 7.2	パイロット 2.0		4
リンク22.2		デート12.4		スポンサー 6.5	ポーカー・ フェース1.3		
				コネ 5.9	ハム 0		
データ28.7	ブーム22.4	キャンセル 18.3		スラム 6.3	ゴシップ1.1	ブランク 0	5
キャッシュ 27.0	ペン・クラ ブ 21.8	プロデュー サー 13.7		ターミナル 3.4	アクロバッ ト 0.5		
カーニバル 24.7				セールスマ ン 2.2	デラックス 0.5		
		エピソード 18.1	セレクトリ ー 11.8	レジスタ ンス 6.3	デザイン 0.7		6
		コンテスト 13.9	エキストラ 11.1	ロボット 4.9	クライマッ クス 0.7		
ジックス 27.4		ドンファン 18.9	ジレンマ 17.1	スクープ 6.9	ニュー・フ ェース 1.1		7
コスト24.0		コント18.6	チョンガー 10.9	タレント 5.7	エレガント 1.1		
グラン・プ リ 20.0		スタンド・ イン 17.7		クーデター 2.3	トリオ 0		
トラブル 26.2		リサイタル 18.0	ギャラリー 11.6	リハーサル 9.3	タワー 2.9	パレード 0	8
ギャラ21.5		エキゾチック 17.4	オアシス 10.5	カルテ 8.1	キング・サ イズ 1.7		
		プロマイド 14.0					

% No	90	80	70	60	50	40	30
9				レセプション 69.2	モニター 58.1	ファミイ・ フェース 42.4 ペーソス 40.7	プロムナード 35.5
10				オポチュニ スト 69.9	フラッパー 59.5 バイパス 57.8 ヴァンプ 54.9 パラドック ス 51.4 デカダン 51.4		キャッチ・ フレーズ 39.3
11				ロートル 69.9		ギャグ 46.2	ハイライト 36.4
12			マチネー 78.0	アラモード 65.9 マスコット 60.1	ビイドロ 54.3	プロット 46.8 コケティッ シュ 45.7 スモッグ 43.4	モノマニア 39.3

非正答率による語句の分布 (3) 和語・俗語(故事成語以外の慣用句を含む)

% No	90	80	70	60	50	40	30
1	にどいも 92.7 唐物屋92.1 のび91.5	ラジオ89.1 大童86.7 ニコポン 86.1 ちようちん をもつ80.6	ロハ台77.6 しもたや 76.4 かわたれど き 75.2 かなぼうひ き 73.9	地 雨69.7 千三つ66.1 口をぬぐう 62.4 おかぐら 62.4	岡目八目 59.4 のたりのた り 57.6 けとばし屋 55.2 アイス51.5	いなせ 49.7 三百代言 47.3 こう屋のあ さって 47.3 目の子かん じょう 45.5	店屋物 38.8 ど や 37.0 あぶくぜに 36.4 女 坂36.4 ラムネ 31.5

20		10		未 満			% No.
メッカ28.5 インタビュ ー 26.7 ギャンブル 25.0 オーナー 25.0		オンパレ ード 14.5 ダンピング 10.5		フィクショ ン 8.7 ユートピア 4.6 レットル 3.5 ナレーター 2.9	アンコー ル 2.3 メッセー ジ 2.3 ミステリー 1.2 ムード 1.2	パトロー ル 0 ゲスト 0	9
ロック・ア ウト 26.5		ギャップ 16.1		スタッ フ 4.6 センセー ション 4.6 ハッピー・ エンド 2.3	スカウト1.1 エリート1.1 トピック0.5	アイデア0.5 スリル 0.5 トリック 0	10
アドリブ 24.8 マニア20.8 コーナー 20.2		ユニーク 18.4 バイプレ ヤー 13.2 ダンディー 12.1 アトラクシ ョン 11.5 アクセサリ ー 10.9		ビザ9.8 リクエスト 5.2 バロメータ ー 2.8 スローガン 2.8	ルポ 1.7 マンモス0.5 プロポーズ 0.5 デビュー0.5	キャリア0.5 チャーミン グ 0 ボイコット 0	11
ストーブ・ リーグ26.6 スクラム 24.8 ピューリタ ン 23.1		エロキュー ション15.6 スーベル・ バーグ15.0 グロ11.6 カタログ 11.0		タイアッ プ 8.1 グロッキ ー 5.8 デマ 4.0 マドロス 2.9 サンドイッ チ・マン1.7	ウイン ク 0.6 ライバル 0.6 タフ 0.6 テーマ 0 ペット 0 ベテラン 0		12

20		10		未 満			% No.
うまのあし 29.7 小春日和 29.7 上手29.1 昼行燈25.5 川止24.2	半どん21.8 山出し21.2 斜陽族21.2 のれんに腕 押し 20.0	居候18.8 こち18.2 敵は本能寺 17.6 赤の他人 17.0 バタバタ 16.4	一六銀行 13.9 ぼたん雪 13.9 のっぺり 13.3 からすの行 水 11.5	札つき 9.7 おか蒸気 6.7 シャッポを ぬぐ 6.1 生兵法 6.1 ねこのひた い 5.5	螢光燈 3.6 成金 3.0 あまのじゃ く 2.4 赤字 2.4 内弁慶 2.4 黒幕 1.2	二枚目 0.6 テクシー0.6 へそくり 0 顔役 0 けりをつけ る 0	1

% №	90	80		60	50	40	30
1			サノノロジ ー 72.7 赤ケツ 72.7		わたのはら 51.5	鬼の霍乱 45.5 三下半 44.2 松の内 43.6 おおらか 40.6 高飛車 40.6	
2		口過ぎ88.2 慶庵81.7		筒井筒68.0 小正月62.7 白鼠60.8	口入屋59.5 山の手57.5 雲上人53.6 足まめ52.9 かまとと 51.6	肩を入れる 47.7 長月 43.8 口車 43.8 論語読みの 論語知らず 42.5 ぶる 40.5	蟬時雨 37.3 飯場 36.6 宿六 30.7 三文文士 30.1 いかものぐ い 30.1
3		いたちの道 88.9 椋鳥86.9 みお86.3 黒木82.4 たてひく 82.4 かけ81.7	二本棒77.8 襟につく 77.1 色を失う 74.5 おもたせ 70.6	丸公69.3 天神鬘68.0 やしゃご 66.0 袖乞62.1 一升買61.4	半畳を入れ る 51.0	袖にする 49.0 三太夫48.4 さるのしり 笑い 46.4 黒ねずみ 45.1 色眼鏡44.4 つけうま 43.1	きたきりす ずめ 39.2 どろぼうに 追銭 39.2 赤札35.9 十三里35.9 どろなわ 35.9 ぬれ手で粟 35.3 役者くずれ 34.6 ねこの目 32.7 いたちごっ こ 30.1
4	二階から目 薬 93.5	ぐれはま 80.4	大向う76.5 馬手75.8 ふりの客 72.5 端境期70.6	先祖がえり 65.4 九寸五分 62.1 もやい60.1	大番57.5 二枚舌57.5 ごまめの歯 ぎしり54.9 横車を押す 53.6 ぬか雨52.9 小笠原流 51.6 総花51.6 平仄が合わ ない 51.0	かて 43.1	ところてん 38.6 沽券にかか わる 37.3 海千山千 36.6 左前 36.6 大御所 35.9 紺屋の白袴 34.6 腰弁 34.0 馬車馬 32.0 あわを吹か す 30.7
5	おたなもの 95.4	げても 87.9	敵本主義 79.8	あこぎ69.0	くだを巻く 58.6		敷居が高い 39.8

20		10		未		満		%
								No.
		ラッパふき 13.9	地獄耳10.9 けたちがい 10.9	虫のいき 5.5				1
馬脚をあら わす 28.8 天地無用 28.8 目から鼻へ 抜ける28.1 馬の耳に念 仏 28.1 鼻持ちがな らぬ 27.5 減らず口 26.1	伊達者26.1 鼻つつまみ 22.2 ねこばば 21.6 発 句21.6 雲の峰20.3 顔まけ20.3 もちほもち 屋 20.3	あごをなで る 19.0 食い倒れ 18.3 頭 金17.6 目きき17.6 お手盛17.0 河童の川流 れ 16.3 しり馬14.4	頭ごなし 12.4 社用族11.8 よりけり 11.8 秋の空11.8 うどの大木 11.8 骨抜き10.5	しにせ 9.8 寝耳に水 8.5 おやつ 8.5 鼻下長 6.5 吹 替 6.5	がちやがち や 3.9 目 抜 3.9 野 分 3.9 肩 身 3.9 筋金入り 3.3	めかす 3.3 手を焼く 3.3 お手のもの 2.0 すねかじり 1.3	2	
朱を入れる 28.8 山が当る 28.8 ななつ屋 28.1 赤 本24.2	二の足を踏 む 22.2 ヌーボー 21.6 八方美人 20.3	水 物19.6 九十九折 19.0 裏書する 19.0 鉄管ビール 17.6 知らぬが仏 17.0 湯桶読14.4 油を売る 13.7	さくら11.8 十八番11.8 みてくれ 11.1 お茶の子 11.1 ねこかぶり 10.5 唐 様10.5	ねずみ算 9.8 ウナ電 9.2 袖の下 8.5 本 命 7.8 山 鯨 7.2 くわせもの 5.9	糠に釘 5.2 八百長 5.2 水に油 5.2 膝栗毛 4.6 犬 死 4.6 山 師 3.9	水に流す2.6 うなぎのぼ り 2.0 千鳥足 2.0 ひとほだぬ ぐ 0.7 たぬきねい り 0 負けずぎら い 0	3	
殺 陣28.8 もどき27.5 雲 助26.8 おもわく 24.1 おしゃか 23.5 竹 光22.9		山 気19.0 二つ返事 19.0 左うちわ 13.7 たかねの花 13.7 しのぎを削 る 10.5		おすそわけ 7.8 ト 書 7.8 きじるし 7.8 お茶をにご す 5.9 馬が合う 5.9 大黒柱 3.9 どさまわり 3.3 月 並 2.0 折紙付 0.7	拍子抜け 0.7		4	
火の車29.8	生馬の目を 抜く 24.7	舌たらず 16.0	下馬評11.4 風来坊10.9	猫 舌 9.7	書き入れ時 4.5	しらを切る 1.1	5	

% No	90	80	70	60	50	40	30
5			腰だめ77.0 殿様芸75.9 立役74.1 他人井73.0 八木71.8	ごまをする 67.8	うちまた膏 薬 55.1 白波54.5 朴念仁50.5		ごへいかつ ぎ 39.0 火中の栗を 拾う 37.9 焼きがまわ る 33.3 テンブラ 32.7 馬を牛に乗り かえる 31.6
6	おどしゃを かける91.7 めくら唇 90.3	鹿島立88.9 狂言まわし 84.0 あたりばこ 80.6	ろうず物 78.5 ぞめく78.5 きらず73.6 昔の衣72.2	甚六68.8 ポンチ絵 67.4 切口上65.3 うぶすな 64.6 やっちゃば 63.9 めんくい 61.8 切米61.8	局方56.9 茶々を入れ る 53.5 腰掛仕事 50.7	こまたすく い 47.9 店子 47.9 下駄をあず ける 47.2 鼻をあかす 46.5 ほぞをかむ 45.8 浮かぬ顔 43.1	水をむける 39.6 油照 39.6 かまをかけ る 38.9 はこ師 38.2 猫に小判 34.7 したり顔 30.6
7		屋台ぼね 80.0	歌枕74.3 京間74.3 兵隊勘定 73.1	洞ヶ峠65.1 しゅん63.4	冬枯58.3 たけのこ生 活 54.9	うつせみ 49.7 ひょうたん なまず 49.7 たまさか 48.0 風花 47.4 冬のかたび ら 46.3 奈落 45.1 木で鼻をく くる 44.0 きもいり 44.0 なしのつぶ て 43.4 士族の商法 42.3	てくだ 39.4 おだをあげ る 37.8 めくらへび 36.0 水をさす 33.7 御曹司 32.0 世間師 31.4
8	あられもな い 91.9	メートルを あげる82.6	赤つら73.3	紋日62.8 六尺61.0	しんにゅう をかける 58.7 九尺二間 58.1 到来物58.1 つめばらを 切らせる 57.0 みそをつけ る 56.4 やにさがる 55.2 いすのはし 54.7	口さがない 48.3 草野球 45.3	殺し文句 39.0 きいた風 38.4 なけなし 34.3 バタくさい 33.1 茶番 32.0 お座敷がか かる 31.4
9		おばしま 86.0	下世話73.3	里心がつく 65.1		むしずが走 る 47.1	おくら 36.6

20	10	未	満	% No.			
器用貧乏 28.7 あしがつく 27.6 氷室 25.8 百年目 25.2	すてぜりふ 24.7 年男 23.5 思わせぶり 21.8	ひとり相撲 14.3 あはずれ 12.0	日和見主義 10.3	温室育ち 8.0 石頭 6.3 毛並がよい 5.7	はっぱをか 3.4 白羽の失を 2.2 立てる 2.2 いかさま 1.1	水のあわ 1.1 虫の知らせ 1.1 なわばり 0	5
ほえづら 23.6 きりもりする 23.6 いわく 22.2 ほおかむり 22.2	駄賃 21.5 棚にあげる 21.5 腰くだけ 20.1	弾丸道路 18.8 油をしぼる 17.4 海賊版 16.7 いなす 13.9	土壇場 11.1	三枚目 9.7 虫がいい 9.7 やまかん 9.7 楽屋話 7.6 はたご 6.9	井戸端会議 5.6 かたすかし 4.9 馬の骨 4.9 お歴々 4.2 メツキがは 2.8	他人行儀 2.1 どすをきかす 2.1 切札 2.1 ぶたばこ 1.4 やぶから捧 0.7	6
蛙の面に水 28.0 外交辞令 27.4 にぎり屋 27.4 無法者 26.8	大名旅行 24.6 関ヶ原 22.9 立板に水 22.8 あしらう 22.8	おしやま 17.7 鉄火な 16.0 なべご景気 16.0 お実芸 15.4 にべなく 14.8 さじを投げ 14.6 小田原評定 13.1	これみよがし 12.6 薩摩守 11.4 てぐすねひく 11.4 とど 10.9 虎の子 10.3 茶化す 10.1	かばん持ち 9.7 ひやめしを 9.7 食わせる 9.7 足もとを見られる 6.9 まゆつばもの 5.7 立往生 5.7	神風 5.1 ダフ屋 5.1 体当たり 5.1 プラスになる 4.6 御破算 4.6 ぬれぎぬを着せる 4.0	つじつまがあう 3.4 ねをあげる 1.7 へそまがり 1.7 音頭をとる 0.6 つかのま 0	7
血道をあげる 27.9 因果をふくめる 27.3 無心する 26.2 仏頂面 26.2 野に下る 25.6 しりが割れる 25.0	勘定高い 23.8 鼻毛をのばす 23.3 ほくそえむ 23.3 しらふ 22.7 車座 21.5 おいらく 20.3	ごねる 19.7 けちをつける 19.2 ひなびる 18.6 かぶれる 18.0 あわを食う 16.9	青菜に塩 16.3 居直る 11.6 後生大事 11.0 はなを持たす 10.5	たなからば 8.1 たもち 8.1 おやま 7.6 花祭 6.4 関古鳥が鳴く 5.2	おかぶ 5.2 自腹を切る 4.7 そつがない 3.5 はなむけ 2.3	とらの巻 2.3 つるの一声 2.3 板につく 0.6	8
釘をさす 29.7	一旗あげる 25.6	だめを押す 19.8	皮算用 16.3	生き字引 8.7	羽をのばす 6.4	とちる 2.9	9

% No	90	80	70	60	50	40	30
9				うけに入る 61.0			おんの字 35.5 真打 32.0
10			しもと76.3	さら63.5 色めく62.4	味噌をする 59.5 間尺に合わぬ 56.0 うぶ52.6	せちがらい 47.9 つつがない 45.6 御都合主義 42.1 都のてふり 41.6	ほまち 39.3 分別くさい 36.9
11		きわ物88.4 角を出す 82.1	けいず買い 78.6 かこつ73.8	きびすを返す 68.8 鼻白む64.7	お墨付58.4 泥試合57.2 さばをよむ 50.8	数珠つなぎ 49.7 銀輪 46.2 ひとり合点 43.9 あやめる 43.3	臺が立つ 38.7 腰巾着 34.7
12	第五列96.9			すべた68.2 伝法61.8 さんびん 60.1 ことほぐ 60.1	にがみばし る 54.3	つめに火を とぼす 40.5	かいがいし い 31.8

〔第二表〕 『非正答率による語句の分布』 集計表

語種 No %	漢						語						外 来 語						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	1	2	3	4	5	6
90	0	1	3	2	2	0	0	0	1	0	1	1	11	0	0	0	0	0	0
80	0	2	5	8	2	1	0	1	1	0	2	2	24	1	0	0	0	0	0
70	5	0	2	4	5	4	1	3	2	5	6	4	41	0	1	0	1	2	0
60	3	5	2	1	5	4	2	2	4	1	6	2	37	0	0	0	2	2	1
50	0	5	2	3	3	2	3	1	4	3	5	1	32	0	1	0	3	0	4
40	0	2	1	2	3	5	3	3	6	4	3	2	34	1	0	0	2	1	0
30	2	5	2	2	3	3	4	2	4	6	2	5	40	2	0	0	2	2	2
20	0	5	1	1	3	1	3	3	7	3	2	3	32	1	0	1	2	5	0
10	0	4	1	3	1	4	3	9	4	8	3	9	49	1	0	2	2	2	4
未 満	8	5	6	6	5	3	4	8	11	11	13	10	90	2	4	3	6	7	4
計	18	34	25	32	32	27	23	32	44	41	43	39	390	8	6	6	20	21	15
平 均	45.9						33.3						27.2						
(%)	38.7																		

〔注〕 平均%は、第一表中にある各語の非正答率を集計して、語数で割ったものである。

20		10		未		満		%
								Na
だて27.9 かさにかか る 26.7	身上24.4 ぬか喜び 20.9	草分16.9	看板にする 11.0	ぬかみそく さい 8.1 小町 8.1 うわの空 7.6 水かけ論 7.0	横やり 5.2 やじ馬 4.6 水くさい4.1 一目おく4.1 うだつがあ がらぬ 4.1 裏をかく4.1	どろをはく 2.9 けたはずれ 2.3 野放し 1.2 つむじまが り 1.2		9
おぼこ 26.5 羽目はず す 26.0 やぶへび 23.1	あがきがと れない23.1 先棒をかつ ぐ 21.3	看板倒れ 18.4 果報者16.1 色をつける 15.0	図屋13.2 木質10.9	うしろめた い 8.0 自前 8.0 だしに使う 6.9 しらける 5.2 青写真 5.2 たかをくく る 5.2	見せしめ 5.2 どろくさい 4.6 見暮 4.0 高飛 3.4 つどい 2.3 でくの棒1.7 年季を入れ る 1.1	たむろする 1.1 おどける1.1 おめでたい 0.5 キセル乗り 0.5 はばをきか す 0 たてをつく0		10
お調子者 21.9 ごたくを並 べる 21.3		つまはじき 19.6 唐変木17.9 間屋がおろ さぬ 16.1		手塩にかけ る 9.8 おはこ 8.6 とんちんか ん 5.7 おかんむり 5.7 足が出る 5.2	律義者 4.6 やじきた4.6 青くさい3.4 とぼける1.7 だだをこね る 1.7	無鉄砲 1.1 どじをふむ 1.1 つつぬけ0.5 瓜二つ 0 かなでる 0		11
のぼほん 29.5 まめまめし い 24.2 じだんだを ふむ 24.2 もみ手22.5	へビーをか ける 20.8 大根20.2	野暮14.5 とんま12.7 えびでたい をつる11.6 スポイルす る 11.0	さしがね 10.4	しびれを切 らす 9.2 かつぎ屋 7.5 ばつが悪い 6.4 思うつぼ 4.6 虎になる 4.6	業をにやす 4.0 まんざらで もない 2.9 抜き打ち2.3 もつてこい 2.3 たけなわ1.2	ふにおちな い 0.6 ひるむ 0.6 村八分 0.6 みみっちい 0 黒星 0 おせっかい0		12

外 来 語								和 語								俗 語								合 計
7	8	9	10	11	12	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	合 計				
0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	2	0	1	0	0	0	1	9	20				
0	0	0	0	0	0	1	4	2	6	1	1	3	1	1	1	0	2	0	22	47				
0	0	0	0	0	1	5	6	0	4	4	6	4	3	1	1	1	2	0	32	78				
0	2	1	1	1	2	12	4	3	5	3	2	7	2	2	2	2	2	4	38	87				
0	1	1	5	0	1	16	5	5	1	8	4	3	2	7	0	3	3	1	42	90				
2	0	2	0	1	3	12	9	5	6	1	0	6	10	2	1	4	4	1	49	95				
0	1	1	1	1	1	13	5	5	9	9	6	6	6	6	3	2	2	1	60	113				
3	2	4	1	3	3	25	9	13	7	6	9	7	8	12	6	5	2	6	90	147				
5	5	2	1	5	4	33	12	13	13	5	6	5	13	9	4	5	3	5	93	175				
6	5	10	9	11	11	78	17	14	18	10	12	15	16	11	17	19	15	16	180	348				
16	16	21	18	22	26	195	74	60	69	48	47	58	61	52	35	41	35	35	615	1200				
19.8							33.4						25.4						31.7					
22.7							30.1																	

〔第三表〕 非 正 答 の 分 類 (語種別・類型別・非正答率順)

語種 語句誤答 類型	漢 語				外 語		
	記号	語 句	%	誤 答	%	記号	語 句
A	12.17	城	89.0	守りの堅固な城	65.3		
	9.80	猜 介	70.9	独断的で見識のせまいこと	32.6		
B	11.20	天衣無縫	71.8	きわめて無邪気なこと	61.3	9.44	レセプション
	1.44	還 曆	75.2	(数え年で)六十才	57.0	5.51	ユース・ホテル
	2.3	台 頭 する	58.8	強大になる	54.2	4.31	サスペンス
	7.42	公 算	53.7	将来の見通し	51.4	6.52	シ ッ ク
	11.19	烏有に帰する	67.1	すっかりさびれる	44.5	9.23	モ ニ タ ー
	7.15	頓 服	69.7	痛みを柔げる薬	43.5	5.12	リ ベ ー ト
	10.73	破 鏡	79.1	悲劇的結末	43.3	12.94	ス モ ッ グ
	10.10	旧 臘	73.4	去年一年中	41.0	7.17	ファッション
	3.100	侃 侃 諤 諤	92.8	やかましく言いたてること	40.5	8.95	ハ イ ツ
	9.10	蜂 起 する	64.0	騒動をまき起す	39.5	9.82	ファニー・フェース
	10.80	疑 心 暗 鬼	68.2	疑い深くて人を信用しないこと	39.3	10.22	キャッチ・フレーズ
	5.21	月 旦	74.1	文 芸 時 評	34.5	1.45	ジ グ ザ グ
	4.76	黄 口 児	83.0	生意気な者	34.0	10.63	ヴァンプ
	2.71	羊 腸	62.1	道が長々と続くさま	32.0	11.89	ギ ャ グ
	5.71	無 頼 の 徒	53.2	悪事を多く重ねた犯罪者	30.9	6.85	バーゲン・セール
	8.38	左 袒 する	61.6	服 従 する	30.8	10.56	バ イ パ ス
	8.37	膾 炙 する	71.5	世間に騒がれる	30.2	5.76	ティーン・エイジャー
						8.64	ラ ッ シ ュ
						12.98	モノマニア

(注) 記号12.17は、第12回の17番の語であることを示す。語句の右の%は、その語の非正当数の合計の%。

来 語			和 語 ・ 俗 語				
%	誤 答	%	記号	語 句	%	誤 答	%
			3.35	色 を 失 う	74.5	あわてふためく	67.2
			7.30	屋 台 ぼ ね	80.0	主 人	50.3
			11.40	ひ と り 合 点	43.9	自分ひとりで思いこむこと	43.3
			6.5	鼻 を あ か す	46.5	慢心をくじく	36.8
			2.89	ぶ る	40.5	えらそうにする	32.0
69.2	祝 賀 会	61.0	5.85	げ て も の	87.9	ひどく粗末な器物	82.2
63.8	青年の合宿所	59.7	8.44	メートルをあげる	82.6	酒を大いに飲む	79.1
60.8	冒 険	58.8	1.75	大 童	86.7	あわてふためくこと	77.0
53.5	地 味 な こと	52.8	8.55	あ ら れ も な い	91.9	つつしみがな	73.3
58.1	放送批評の投書家	51.2	2.66	山 の 手	57.7	住 宅 地 帯	56.9
77.9	謝 礼 の 金	51.0	5.30	ご ま を す る	67.8	あいそよくする	56.9
43.4	煤 煙	43.4	6.40	狂 言 ま わ し	84.0	滑稽なしぐさで笑わせる人物	55.6
42.9	服 装	42.3	4.16	二階から目薬	93.5	不可能なことのたとえ	54.9
68.0	集 団 住 宅	41.3	7.61	し ゆ ん	63.4	出 始 め の 時 期	53.1
42.4	可 愛 い 顔	40.1	11.66	数 珠 つ な ぎ	49.7	次から次へと切れ目のないこと	47.9
39.3	商品売り込みの文句	39.3	11.64	さ ば を よ む	50.8	物事を大げさに言う	47.4
41.2	S 字 形	37.0	11.71	泥 試 合	57.2	はてしない争い	43.3
54.9	情 婦	36.4	6.84	茶 々 を 入 れ る	53.5	お ど け る	40.3
46.2	こつけいなしばい	35.8	1.58	ちょうちん(提灯)をもつ	80.6	人をおだてあげる	40.0
38.9	大 売 出 し	35.4	9.6	う け に 入 る	61.0	独りでにやにやする	39.5
57.8	有 料 道 路	34.1	6.30	切 口 上	65.3	あいさつの時に述べる言葉	38.9
49.1	十歳から十九歳までの人	33.6	3.76	た て ひ く	82.4	強く反抗する	38.5
33.1	混 乱	32.6	11.16	き わ 物	88.4	どぎつい物	38.1
39.3	ものを熱心に集めること	30.1	7.71	た げ の こ 生 活	54.9	びんぼうな生活	37.8
			8.62	草 野 球	45.3	ひどくへたな野球	37.8
			7.32	な しの つ お て	43.4	手ごたえのないこと	36.6
			7.85	冬 枯	58.3	お金が乏しくなること	36.6
			7.54	き も い り	44.0	顔 役	36.6
			7.35	洞 ケ 峠	65.1	傍観的な態度	36.0
			3.94	袖 乞 訴	62.1	哀 訴	35.9
			6.35	ポ ン チ 絵	67.4	ごく低俗な絵	34.7
			3.36	色 眼 鏡	44.4	まちがった観察	34.6
			1.40	の たり の たり	57.6	のんびりしたさま	34.5
			11.73	お 墨 付	58.4	義務を明記した文書	34.1
			1.24	お お ら か	40.6	お だ や か	33.3
			1.31	ニ コ ポ ン	86.1	相手におべつかをつかうこと	32.7
			2.63	肩 を 入 れ る	47.7	熱 中 す る	32.7
			2.95	飯 場	36.6	土木工事の現場	31.4

B																
C	3.32	丹	青	87.6	まごころ	76.4	4.10	ア	ド							
	11.14	致	仕	91.9	職務につくこと	56.0										
	11.30	油	然	83.2	ゆったりとしているさま	55.4										
	3.99	事	大 主 義	87.6	物事を安易には考えない主義	46.4										
	7.29	散	策	59.4	まとまりのない考え	46.3										
	12.76	関	頭	69.9	事の 始 め	46.2										
	11.86	徒	長	63.0	だらだら長く続くこと	42.8										
	11.74	先	考	80.9	先くぐりの考え	42.1										
	3.68	開	山	60.1	登山季節のはじまり	41.2										
	9.58	遜	色	52.9	謙遜な様子	38.4										
	5.53	商	議	96.0	商 談	37.9										
	9.56	点	心	82.6	無邪気なこと	37.2										
	1.2	当	用	70.9	常に用いるべき	37.0										
	6.41	銀	漢	79.2	銀 髪 の 男	36.8										
	7.78	禁	足	47.4	立ち入ることを禁ずること	35.4										
	12.77	洗	脳	37.0	もやもやを一掃すること	31.8										
	8.13	奇	貨	77.3	予想外の事態	30.2										
D	4.5	二	千 石	84.3	旗 本	68.6	12.75	ビ	イ	ド	ロ					
	9.15	露	頭	65.1	あまざらしの場所	58.1						2.88				
	12.5	鼓	吹	74.6	大ばらを吹きまくる	54.9							12.62			
	3.96	袂	を	63.4	わかつ	53.6								4.57		
	2.48	秋	霜	85.0	寂しいこと	52.2									1.13	
	5.53	商	議	96.0	かけひき	50.0										2.50
	11.10	撞	着	78.6	まったく一致すること	48.6										
	12.93	氷	釈	71.7	冷淡であること	48.6										
	5.11	連	座	82.5	共 同 謀 議	46.3										
	12.40	独	参 湯	86.7	わがままなふるまい	45.1										
	12.96	稗	史	93.1	風 俗	42.8										
	5.74	莫	逆	89.7	君主に不忠な臣下	42.5										
	11.76	等	閑	75.1	ひまつぶし	42.1										
	9.99	木	鐸	90.7	風流を解さない人	42.0										
	4.4	布	衣	96.1	僧 侶	41.8										
	5.96	牛	耳	47.7	煽 動 す る	41.4										
	11.43	什	器	77.5	仏 具	41.0										
	10.5	角	逐	75.1	追いはらうこと	40.4										
	1.80	門	前	77.0	たずねて来る人で非常ににぎわうこと	40.0										
	5.65	蒲	柳	90.0	性格の優柔不断なこと	39.6										
	2.13	月	下	84.3	冷 酷 な 人	38.5										
	5.56	刀	圭	77.6	武 芸 家	37.9										
	9.43	上	乗	54.1	話が非常にうまいこと	37.8										
	6.77	通	事	77.8	手 紙	37.5										

			11.94	けいず買い	78.6	古物を売買すること	31.2
			8.98	つめばらを切らせる	57.0	むりやりに承知させる	30.8
			1.43	高飛車	40.6	ごうまん	30.3
			8.3	なげなし	34.3	ありったけ	30.0
69.9	忠告	41.2	2.30	口過ぎ	88.2	おしゃべり	58.2
			2.31	口入屋	59.5	おせっかいをする人	45.1
54.3	笛	42.2	11.7	角を出す	82.1	じかねを現わす	63.5
58.2	天然色映画	39.2	6.34	めくら暦	90.3	一枚ずつめくる暦	63.4
78.0	野天興行	38.2	1.83	ラジオ	89.1	おしゃべり	63.0
48.4	短い批評	35.9	8.29	赤つら	73.3	道化役	61.0
83.0	つや出し加工	33.9	12.56	第五列	91.9	あふれたもの	57.2
74.5	たて琴	30.1	11.59	きびすを返す	68.8	急に態度をあらためる	52.6
			9.29	里心がつく	65.1	人間の愛情がわかるようになる	51.2
			5.41	殿様芸	75.9	おもしろくない芸	47.1
			5.75	立役	74.1	端役	44.8
			5.80	他人井	73.0	よその家で食べる食物	43.1
			4.91	横車を押す	53.6	側から口を出す	42.5
			6.10	鹿島立	88.9	朝早く出発すること	42.4
			1.48	唐物屋	92.1	骨董店	41.2
			8.68	みそをつける	56.4	へつらう	40.1
			4.85	二枚舌	57.5	話術が巧みなこと	39.2
			8.76	紋目	62.8	物忌み日	39.0
			5.92	おたなもの	95.4	商店で売る品物	38.5
			4.38	大向う	76.5	舞台の正面	37.9
			11.78	かこつ	73.8	周囲に気をつかう	37.6
			12.35	にがみばしる	54.3	ごきげんが悪い	37.6
			3.29	黒木	82.4	材質の堅い木	35.9
			4.29	小笠原流	51.6	華道の流儀	35.9
			6.19	ぞめく	78.5	がやがや大騒ぎする	35.4
			6.38	苔の衣	72.2	古びた粗末な衣服	35.4

D	4.24	半 風 子	84.3	す だ れ	37.3			
	4.52	漏 刻	87.6	月 日	37.3			
	6.92	妍 を き そ う	68.1	優 劣 を 争 う	36.8			
	11.83	旗 亭	53.2	あ ず ま や	36.4			
	6.75	白 面	81.9	全 然 見 知 ら な い こ と	36.1			
	3.58	国 手	91.5	政 治 家	35.9			
	9.99	木 鐸	90.7	融 通 の き か な い 人	34.9			
	11.52	権 妻	64.7	先 妻	34.1			
	11.58	健 啖	34.1	じ ょ う ふ な こ と	34.1			
	5.98	三 舎 を さ け る	77.6	直 接 行 動 を つ つ し む	33.9			
	9.56	点 心	82.6	お 茶 を た て る こ と	33.7			
	10.93	私 淑 す る	75.1	し と や か に ふ る ま う よ う に す る	33.5			
	12.18	狭 斜	76.9	山 道	33.5			
	6.93	惻 隱	66.7	秘 密 に す る こ と	33.3			
	7.94	寒 心	50.9	心 に し み て 感 ず る こ と	33.2			
	8.78	上 梓	73.3	編 集	33.1			
	10.54	高 足	43.9	高 慢 ち き な 人	32.9			
	2.43	五 風 十 雨	96.1	気 候 の 不 順 で あ る こ と	32.7			
	8.87	鳩 首	68.6	肥 え 太 っ た 短 い 首	32.6			
	5.4	東 道	76.4	引 率 係	32.2			
	5.15	逸 話	55.0	世 に 伝 承 さ れ た 話	32.2			
	4.48	尚 齒	82.4	高 齢	32.0			
	6.75	白 面	81.9	全 く 酒 は 飲 ん で い な い こ と	30.6			
	9.59	疑 獄	64.5	世 間 に 知 ら れ ぬ 事 件	30.2			
	3.33	出 藍	75.2	低 い 身 分 か ら 出 世 す る こ と	30.1			
	11.18	袖 珍 本	72.8	珍 し い 本	30.0			
	E	8.48	寸 鉄	85.5	親 切 な 忠 告	47.7		
		7.64	数 奇 物	79.4	変 屈	47.5		
3.86		尤 物	8.50	掘 り 出 し も の	33.9			
F	1.65	惠 存	71.5		48.5	4.25	ベ デ カ	
	3.84	江 湖	81.7		45.0	5.52	ク レ ー ム	
	4.74	流 連	77.8		44.4	4.50	シ ノ ニ ム	
	6.39	尺 牘	78.5		43.1	4.21	莫 大 小	
	3.26	黄 白	70.6		41.8	6.79	テ ケ ツ	
	4.80	汗 牛 充 棟	86.3		41.8			
	4.48	尚 齒	82.4		41.2			
	4.75	骸 骨 を 乞 う	69.9		41.2			
	4.1	泰 斗	79.7		39.9			
	6.76	著 宿	72.2		39.6			
	2.34	年 齒	66.7		39.2			
	4.44	一 見	89.5		37.3			
	3.78	華 燭	47.1		36.6			
	3.30	緑 林	90.8		35.9			
	1.9	岳 父	69.1		35.8			

			7.9	兵 隊 勘 定	73.1	後払いで飲むこと	35.4
			4.14	か て	43.1	う る お い	34.6
			7.60	歌 枕	74.3	名勝をさぐって歌をよむこと	34.4
			4.30	ふ り の 客	72.5	久しぶりの客	34.0
			5.55	敷 居 が 高 い	39.8	気ぐらいの高い家でたずねにくい	32.9
			5.73	あ こ ぎ	69.0	ず る い こ と	32.9
			10.82	色 め く	62.4	あれこれと心が動揺する	32.9
			12.82	す べ た	68.2	口 の 軽 い 女	32.9
			7.60	歌 枕	74.3	古歌に見える前置きの言葉	32.6
			7.63	京 間	74.3	茶室風のしゃれたへや	32.6
			6.46	浮 か ん 顔	43.1	げげんな顔つき	31.9
			4.97	端 境 期	70.6	二月、八月の物の売れない時期	31.4
			21.00	自家薬籠中の物	68.0	非常に大切にしているもの	30.7
			5.33	腰 だ め	77.0	腰を落ちつけて事をする事	30.5
			8.51	や に さ が る	55.2	横柄な態度でかまえる	30.2
			7.26	め くら へ び	36.0	でたらめなふるまい	30.0
			7.45	て く だ	39.4	仕事をやりぬく手ぎわ	30.0
			10.2	つ つ が ない	45.0	穏 当 で ある	30.0
			3.1	椋 鳥	86.9	気 取 り 屋	52.9
			10.27	せ ち が ら い	47.9	ひどくそらそらしい	39.8
			3.6	い た ち の 道	88.9	しじゅう行き来すること	39.2
			9.76	お ば し ま	86.0	植 え 込 み	37.5
			5.93	八 木	71.8	そ ば	31.6
73,2		43.1	2.57	慶 庵	81.7		47.3
78,5		34.9	3.47	二 本 棒	77.8		47.0
55,6		34.0	1.68	千 三 つ	66.1		44.8
59,5		32.0	1.31	ニ コ ボ ン	86.1		43.6
56,3		30.6	1.46	かわたれどき	75.2		42.4
			1.85	の び	91.5		42.4
			3.67	み お	86.3		41.8
			3.95	襟 に つ く	77.1		41.8
			1.23	に ど い も	92.7		41.2
			2.83	筒 井 筒	68.0		41.2
			41.00	ぐ れ は ま	80.4		41.2
			1.71	かなぼうひき	73.9		40.0
			3.13	か け	81.7		39.8
			3.87	丸 公	69.3		39.8
			4.53	も や い	60.1		38.6

F	4.41	秋	波	73.9		35.3		
	4.24	半 風	子	84.3		34.6		
	4.39	磊	落	59.5		34.6		
	6.71	竹	帛	52.8		34.0		
	3.86	尤	物	85.0		33.9		
	2.35	舌	代	58.8		33.7		
	1.80	門前雀羅を張る		77.0		33.3		
	2.2	言	質	62.7		32.7		
	4.4	布	衣	96.1		32.7		
	4.42	秋	水	50.3		32.7		
	3.58	国	手	91.5		32.6		
	4.70	口	錢	94.8		32.0		
	4.76	黄 口	児	83.0		30.7		
	2.39	唇	齒	51.0		30.1		

〔第四表〕『非 正 答 の 分 類』集 計 表

語種 No. 類型	漢 語												計	外 来							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3	4	5	6	7	8
A	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
B	1	2	1	1	2	0	2	2	1	3	2	0	17	1	0	0	1	3	2	1	2
C	1	0	3	0	1	1	2	1	2	0	4	2	17	0	0	0	1	0	0	0	0
D	1	3	3	7	7	5	1	2	6	3	7	5	50	1	2	0	1	0	0	0	0
E	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
F	3	4	6	13	0	3	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	3	1	1	0	0
計	6	9	14	21	10	9	6	6	10	6	13	8	118	2	2	0	6	4	3	1	2

(注) 右端の平均%は、第三表中にある各語の誤答または無答の%を集計して、語数で割ったものである。

(七) 結果の考察

(i) 全体について(第一表, 第二表参照)

(1) 調査語彙 1200 語の語種別比率

← 全体 1200 語 →		
漢 語	外 来 語	和 語 俗 語
390 語 33%	195 語 16%	615 語 51%

和語・俗語が全体の $\frac{1}{2}$ 強で最も多く、漢語が $\frac{1}{3}$ 、外来語が $\frac{1}{6}$ 弱で最も少ない。

(2) 平均非正答率は、漢語が38.7で最も高く、和語・俗語が30.1でこれに基づき外来語が22.7で最も低い。(第二表最下欄参照)

(3) 漢語(390語)・外来語(195語)・和語俗語(615語)を、それぞれ100と見て、語種別に非正答率に応じて、理解されていない語・されている語の割合をグラフにすると次のようになる。

6.96	き	ら	ず	73.6		38.2
1.73	サイ	ノ	ロ	72.7		37.6
6.89	お	ど	し	91.7		37.5
1.94	し	も	た	76.4		37.0
6.15	ろ	う	ず	78.5		35.4
3.76	た	て	ひ	82.4		34.6
1.60	鬼	の	霍	45.5		34.5
4.92	総		花	51.6		34.0
3.29	黒		木	82.4		33.9
3.38	天	神	髭	68.0		33.9
6.98	切		米	61.8		33.3
4.28	馬		手	75.8		32.0
6.16	あ	た	り	80.6		31.3
3.56	半	畳	を	51.0		30.7
4.40	ご	ま	め	54.9		30.1
3.57	や	し	や	66.0		30.0

語					和 語 ・ 俗 語													合	平
9	10	11	12	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	計	%
0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	5	7	46.8
3	3	1	2	19	6	3	3	1	2	4	6	5	1	0	6	0	37	73	44.3
0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	20	44.6
0	0	0	2	6	2	1	1	7	7	5	6	4	1	2	3	3	42	98	41.8
0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	5	8	41.3
0	0	0	0	5	9	2	10	5	0	5	0	0	0	0	0	0	31	65	38.4
3	3	1	4	31	17	9	17	13	10	15	13	9	3	3	10	3	122	271	42.0

漢 語	90	80	70	60	50	40	30	20	10	10 未満
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-------

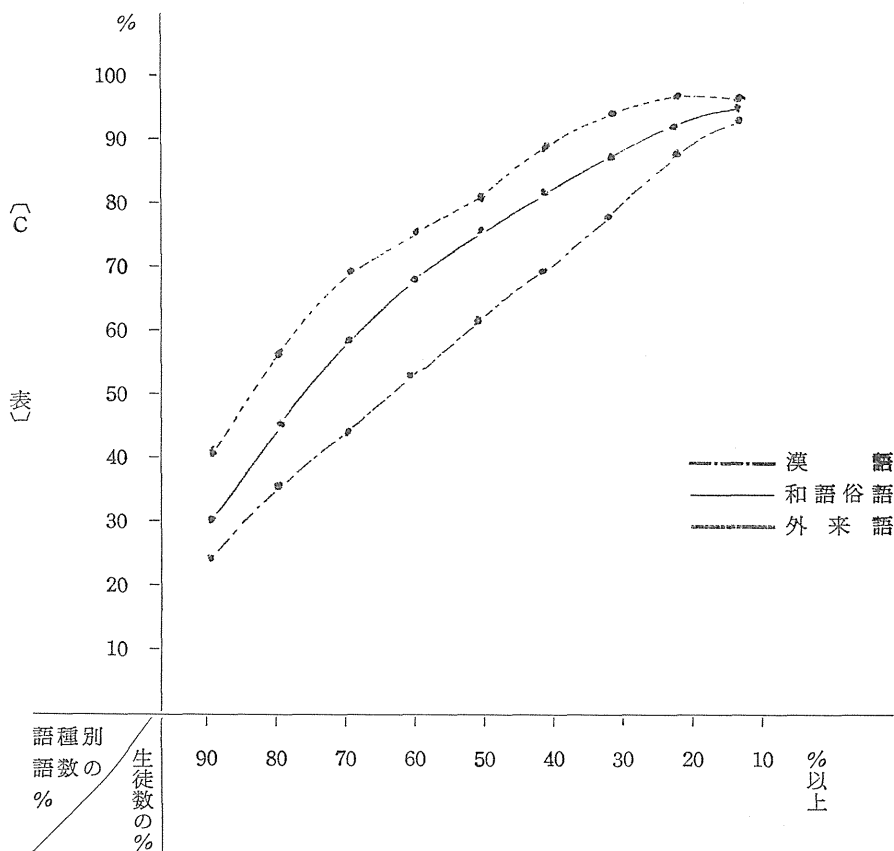
〔B〕 外 来 語	80	70	60	50	40	30	20	10	10 未満
-----------	----	----	----	----	----	----	----	----	-------

〔表〕 和 語 俗 語	90	80	70	60	50	40	30	20	10	10 未満
-------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-------

(全 体)	90	80	70	60	50	40	30	20	10	10 未満
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-------

〔注〕 80, 70等の数字は、それぞれ非正答が生徒の80%台, 70%台の語であることを意味し、マスの大きさがその割合を示している。

- a. 外来語の非正答率が10%未満の語(従って大多数の生徒に正しく理解されている語)は、外来語全体の40%を占めていて、これは漢語・和語俗語のそれより大きい値なので、外来語は他の語種より比較的正しく理解されていると見られる。
- b. 生徒の過半数(50%以上)が正しく理解していない語の、語種別%は次のとおりである。
- | | | | | | |
|------|-----|------------------------|------|-----|------------------------|
| 漢語 | 37% | (4割弱, $\frac{1}{3}$ 強) | 外来語 | 17% | (2割弱, $\frac{1}{6}$ 強) |
| 和語俗語 | 23% | (2割強, $\frac{1}{4}$ 弱) | (全体) | 27% | (3割弱, $\frac{1}{4}$ 強) |
- 〈注〉50のマスの上辺から左へよむ。
- c. 生徒の80%以上が正しく理解している語の、語種別%は次のとおりである。
- | | | | |
|------|-----|------|-----|
| 漢語 | 36% | 外来語 | 57% |
| 和語俗語 | 44% | (全体) | 44% |
- 〈注〉20のマスの上辺から左へよむ。
- d. 和語俗語の%と全体の%とが近似しているのは、A表で明らかなように、和語俗語の語数が全体の $\frac{1}{2}$ 強を占めていることと関係があると思われる。
- e. 次のグラフは、上掲のB表と同値のものである。B表のマスの上辺の大きさを縦軸の目盛りにとり、また、B表の非正答率を表わす「10%未満」等の数値を、逆に、正答率を表わす「90%以上」等の数値に置きなおし、これを横の目盛りにとったものである。生徒のある%以上が理解している語は、語種別にどのくらいの割合になっているかを、B表よりも見やすくしたものである。



〈注〉「生徒の50%以上が理解している語は語種別に見るとどのくらいであるか」を見るには、横の目盛りの50にあたる縦の目盛りを読む。

これによれば、生徒の過半数（50%以上）が正しく理解している語の、語種別%は、漢語63%、外来語83%、和語俗語77%で、bと対応する。つまり、理解度は、外来語が最も高く、以下、和語俗語・漢語の順に低くなっていることがわかる。

(四) 「非正答の分類」について（第三表・第四表参照）

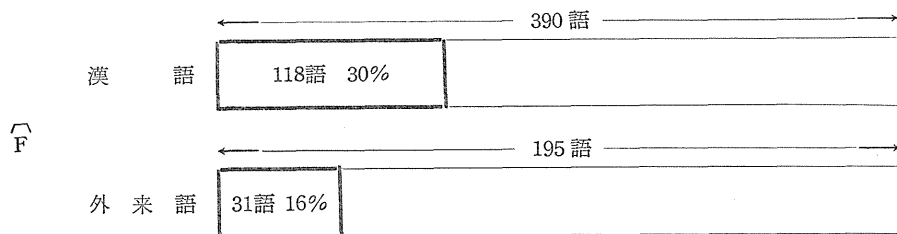
(1) 第四表を簡約すると、次のとおりである。

類 型		語 種	漢 語	外 来 語	和 語 俗 語	合計(百分比)
一項目の誤答または無答が30%を越えるもの	第一類	A 場合によっては許容され得るもの	2	0	5	7 (2.6)
		B ある程度の接近, 通俗的誤用・転用	17	19	37	73 (26.9)
	第二類	C 同音異義・同訓異義との混同	17	1	2	20 (7.4)
		D 連想的こじつけ・あて推量でC以外	50	6	42	98 (36.2)
		E 抛りどころがなく飛躍の甚だしいもの	3	0	5	8 (2.9)
		F 無答のもの	29	5	31	65 (24.0)
合 計 (百 分 比)			118 (43.5)	31 (11.4)	122 (45.0)	271

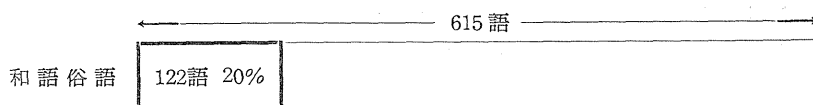
(2) 1200語の中から取り出された、延271語（うち重出11語・第三表所載）の語種別比率

← 全体 延271語 →		
漢 語	外 来 語	和 語 俗 語
118語 44%	31語 11%	122語 45%

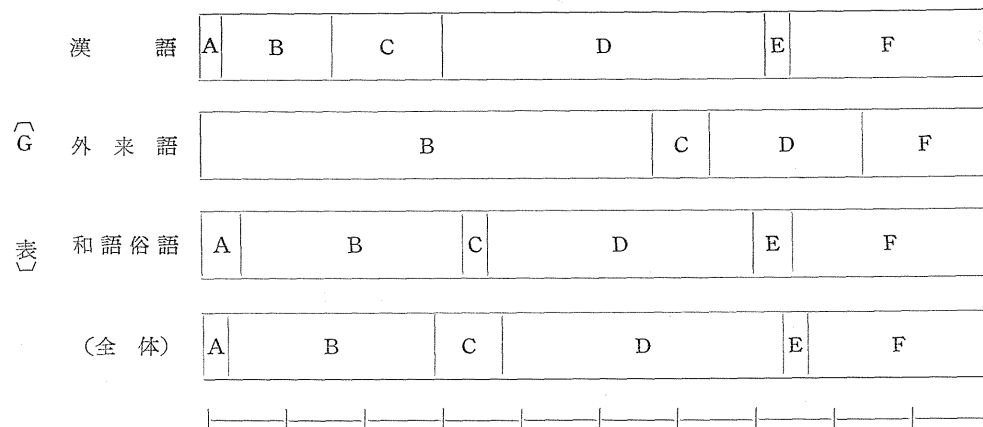
漢語と和語俗語がほぼ同数で多く、外来語は約 $\frac{1}{10}$ で少ない。しかし、これを次の語種別調査語彙全体の割合の中で見ると、漢語が $\frac{1}{3}$ 弱で多いことは目立つが、外来語は少ないといっても、その%は和語俗語とさして変わらない点が注目される。



表



(3) 漢語 (118語)・外来語 (31語)・和語俗語 (122語) を、それぞれ 100 と見て、語種別に各類型の占める割合をグラフにすると、次のようになる。(D表参照)



- 全体を通じてD型(こじつけ・あて推量)が最も多く36%、B型(ある程度の接近、通俗的誤用・転用)がこれにつき27%、F型(無答)が24%、以下C・E・Aの順である。
 - 外来語の61%がB型であるのが注目される。これは字づらによる類推は働かないから、B型の中でも主として通俗的誤用・転用の受容と目せられるものである。
 - D型が、漢語では42%、和語俗語では34%と、それぞれ首位を占めているのは、字づらによる類推が多く作用するためであろう。
 - 漢語の84%までが、こじつけ・あて推量・無答など(C・D・E・F)であるのは、漢語知識の不足を如実に示している。これが外来語の好成績と対照的であるのは、ジェネレーションの若さを示すものでもあろう。
- (4) A型とB型、C型とD型、D型とB型の、それぞれの間には面然と区別しがたい、微妙な関連性があるから、語によっては、どちらの型に属すると見るのが妥当であるか判定に迷うものがある。たとえば、次の三語の誤答は、通俗的誤用または転用と認めてB型に分類したが、A型(場合によっては許容され得るもの)に最も近いものである。(異論の多い語の所属は、6名の国語教官の多数決によって決定した。)
- 天衣無縫〔〔正〕自然のまままで美しいこと。〔誤〕きわめて無邪気なこと。〕
 - 公算〔〔正〕確かさの度合。〔誤〕将来の見通し。〕
 - あられもない〔〔正〕似合わしくない。〔誤〕つつしみが無い。〕
- (5) B型は、語意の一面をとらえただけのあまい把握であるとはいえ、省察を深めれば正解に達し得る可能性を含むものである。B型が多いということは、われわれの国語教育にも責任の一斑がある。教科書付載の便宜的な注解や、教授者の不用意な意識などが、生徒の言葉に対する省察を妨げ、安易な理解にとどまらせる一因をなしているかも知れないからである。

(イ) 39年度との比較について

〔H〕
表

比較項目		年 度		備 考
		39 年 度	40 年 度	
		No.1～No.6	No.7～No.12	
総 平 均 得 点		63.5	72.7	
F 型 (無 答) の 語 数		65語	0語	第四表参照
非 正 答 率	90%台のもの	15語	5語	第二表参照
	80%台のもの	36語	11語	
平均非正答率	漢 語	45.9%	33.3%	
	外 来 語	27.2%	19.8%	
	和 語・俗 語	33.4%	25.4%	

〔注〕 平均非正答率は、第一表中にある各語の非正答率を集計して、語数で割ったものである。

- (1) 上掲の比較表から見て、40年度の成績が39年度のそれに比してまさっていることは明らかである。ただし、これだけで、今年度の二年生が昨年度のそれよりもまさっているとは断じがたい。調査した語彙が違うからである。試みに、昨年度の第5回分と同じ内容の語彙を、同じ調査用紙で、今年度の二年生に解答させた結果は、平均得点64.1であるのに対して、昨年度の平均得点は61.1である。
- (2) 落差の主要な原因は、底本の語彙の構成にかたよりのあるためと思われる。おたなもの(非正答率95.4%)・にどいも(92.7)・おどしゃをかける(91.7)・のび(91.5)・緑林(90.8)・ラジオ(89.1)・いたちの道(88.9)・ニコポン(86.1)等の、明治・大正的な疎遠な風俗語ないしは隠語的なものが、前半には多いのに対して、後半にはこの種の語が少ない。底本が元来、雑誌に連載されたものであることを考えると、当初はクイズの性格を備えていたものが、回を追うに従って漸次変貌して来たものと推察される。

(二) 漢語について

- (1) 第二表・第四表およびB表・G表から、漢語の部分抽出してまとめなおすと次のようになる。

〔I〕 (その一)

非正答率	90	80	70	60	50	40	30	20	10	未 満	計
漢 語											
語 数	11	24	41	37	32	34	40	32	49	90	390
百 分 比	2.8	6.2	10.5	9.5	8.2	8.7	10.3	8.2	12.6	23.1	100

〔I〕 (その二)

類 型	A	B	C	D	E	F	計
漢 語							
語 数	2	17	17	50	3	29	118
百 分 比	1.7	14.4	14.4	42.4	2.5	24.6	100

- (2) 漢語 390 語を、故事成語または古風な漢語と、現代用語としての漢語とに大別すると、前者に属するものは概して非正答率が高く、後者に属するものは低い。
- (3) 非正答率 70%以上の語は 76 語であるが、その中、現代用語と目せられるものは次の 10 語 (13.2%) だけで、他はすべて故事成語または古風な漢語である。

口銭・事大主義・連座・還暦・当用・数奇・上梓・等閑・天衣無縫・鼓吹する。

これに対して、非正答率10%未満の語90語の中、故事成語または古風な漢語と目せられるものは、次の12語(13.3%)だけで、他はすべて現代用語である。

白眼視・登竜門・蛇足・四面楚歌・漁夫の利・指南・白眉・食客・螢雪の功・杞憂・左遷・嘴矢。

- (4) 故事成語については、漢字特有の字づらによる類推はほとんど不可能であるから、理解度の高い語と低い語とに別れる原因は、主として教科書などで学習したか否かによって左右されているものと思われる。試みに、本校採択の国語教科書高校一年用(古典乙I・漢文 実教出版、現代国語 大日本図書)に現われている故事成語類と、教科書に現われていないほぼ同程度の故事成語類とを、調査語彙中から摘出して、その理解度を比較してみると、次の表のとおりである。

〔I〕
表

教科書に現われている故事成語類				教科書に現われていない故事成語類			
語句	非正答率	語句	非正答率	語句	非正答率	語句	非正答率
四面楚歌	2.6	食客	6.3	五風十雨	96.1	月下水人	84.3
白眉	2.8	蛇足	9.2	侃侃諤諤	92.8	泰斗	79.7
左遷	2.8	嘴矢	9.2	致仕	91.9	奇貨	77.3
螢雪の功	2.9	老臉	11.5	木鐸	90.7	出藍	75.2
杞憂	5.8	赤貧	11.6	蒲柳	90.6	私淑する	75.1
漁夫の利	5.9			牙城	89.0	天衣無縫	71.8
白眼視	6.1			汗牛充棟	86.3	膾炙する	71.5

- (5) 非正答の類型では、D型が最も多く、390語中の42%、F型が25%、C型がこれにつき14%である(I表)。C・Dはいずれも、類推による誤りという点では同類であるから、これを加えて、他種の語のC+Dの%と比較すると、

漢語 57%
外来語 23%
和語・俗語 36%

で、漢語が圧倒的に多い。これは、字義の一端をとらえやすいために、かえって本義から遠ざかることが多いことを示すものであろう。

〔C型の代表例〕

- 丹青(非正答率87.6%の中、「まごころ」と答えたもの76.4%、「丹青」との混同。)
- 致仕(非正答率91.9%の中、「職務につくこと」と答えたもの56.0%「仕事を致すとよんだものか?)
- 油然(非正答率83.2%の中、「ゆったりとしているさま」と答えたもの55.4%、「悠然」との混同。)

〔D型の代表例〕

- 二千石(非正答率84.3%の中、「旗本」と答えたもの68.6%)
- 露頭(非正答率65.1%の中、「あまぎらしの場所」と答えたもの58.1%)
- 鼓吹する(非正答率74.6%の中、「大ぼらを吹きまくる」と答えたもの54.9%)
- 袂をわかつ(非正答率63.4%の中、「伸よくする」と答えたもの53.6%)
- 秋霜(非正答率85.0%の中、「寂しいこと」と答えたもの52.2%)

- (6) B型はC型と同率の14%である。これの大部分は字義の一端をとらえて、そこから接近し

たものではなく、その語の実際の用法を漠然と知っているものらしく思われる。すなわち、B型の定義の中、主として後項の規定「通俗的誤用・転用の無自覚的受容」に該当するものである。

〔B型の代表例〕

- 天衣無縫 (71.8%の中, 「きわめて無邪気なこと」が61.3%)
- 還 暦 (75.2%の中, 「六十才」が57.0%)
- 台頭する (58.8%の中, 「強大になる」が54.2%)
- 公 算 (58.7%の中, 「将来の見通し」が51.4%)

(外) 外来語について

(1) 外来語 195 語の中, 英語系のもものが 168 語で 86.1% を占め, 非英語系のもものは 27 語で 13.8% にすぎない。その内わけは次のとおりである。

国別	語	非正答率	語	非正答率	語	非正答率	数	平均
フランス語	マチネー	78.0	アンケート	48.4	クーデター	2.3	18	29.0
	ヴィオロン	74.5	プロムナード	35.5	アンコール	2.3		
	アラモード	65.9	グラン・プリ	20.0	ルポ	1.7		
	エスプリ	62.4	コント	18.6	エリート	1.1		
	シ ッ ク	53.5	ヌーベル・バーグ	15.0	デラックス	0.5		
	デカダン	51.4	コミュニケ	13.7	デビュー	0.5		
	オランダ語	ギヤマン	29.1	レ ッ テ ル	3.5	マドロス		
ポルトガル語	ビイドロ	54.3					1	
スペイン語	莫 大 小	59.5					1	
ドイツ語	カ ル テ	8.1					1	
イタリー語	ト リ オ	0					1	
中国語	ロートル	69.9					1	
朝鮮語	チョンガー	10.9					1	
英語	(省略・第一表の(2)参照)						168	21.6

(2) 英語系の語の, 平均非正答率が 21.6 であるのに対して, 非英語系の語のそれは 29.0 であるから, やや難解であることを示している。

(3) 以上のほかに, 次のような類別もできる。

a. 明治時代に日本語化した外来語。(カッコ内は非正答率)

テケツ (56.3)・ラシャメン (50.6)・ハイカラ (33.3)

b. 固有名詞から出た外来語。

サンフォライズ (83.0)・ベデカ (73.2)・メッカ (28.5)・ドン・ファン (18.9)

c. 略語として通用している外来語。

アド (69.9)・セコハン (30.6)・ギャラ (21.5)・グロ (11.6)・コネ (5.9)・デマ (4.0)・ルポ (1.7)・ハム (0)

アドの非正答率が高いのは, advertisement の略語であるのを, advice と誤解したためである。

d. 以上 15 語の, 平均非正答率は 32.6 となるから, 外来語の中での難語の部類である。a は時代の古さ, b は元来固有名詞であるための特殊性, c は略語としての不完全さなどが

原因であろう。ハムが0であるのは年代の若さを物語る。対象が年配者層であれば、ハムとテケツとの%は逆転するところであろう。

- (4) 第二表, 第四表およびB表・G表から, 外来語の部分抽出してまとめなおすと次のようになる。

〔その一〕

非正答率	90	80	70	60	50	40	30	20	10	未満	計
外来語											
語数	0	1	5	12	16	12	13	25	33	78	195
百分比	0	0.5	2.6	6.2	8.2	6.2	6.7	12.8	16.9	40.0	100

〔その二〕

類型	A	B	C	D	E	F	計
外来語							
語数	0	19	1	6	0	5	31
百分比	0	61.3	3.2	19.4	0	16.1	100

- a. (その一) から。195語中, 非正答率90%台の語は1語もないのに対して, 30%未満の語は136語で, 全体の69.7%を占めている。
 b. (その二) から。A型・E型は皆無。B型に属する語が, 31語中の19語で, 61.3%を占め, D・Fそれぞれの3倍強である。

〔B型の代表例〕

- レセプション (69.2%の中「祝賀会」が61.0%)
- ユース・ホステル (63.8%の中「青年の合宿所」が59.7%)
- サスペンス (60.8%の中「冒険」が58.8%)
- シック (53.5%の中「地味なこと」が52.8%)
- モニター (58.1%の中「放送批評の投書家」が51.2%)
- リベート (77.9%の中「謝礼の金」が51.0%)

上の()内にあげた左側の%と右側の%とが近接していることが, 漢語や和語俗語の誤答にくらべて特徴的な点である。つまり, 誤答したものの大部分が「」の意に解していて, 分散が見られないということは, そう思い込んでいて, あれかこれかと迷う者が少ないということである。以下, 漸次低率になる語についてはこの傾向がもっとも顕著である。

- スモッグ (43.4%「煤煙」43.4%)
 - ファッション (42.9%「服装」42.3%)
 - ファニー・フェース (42.4%「可愛い顔」40.1%)
 - キャッチ・フレーズ (39.3%「商品売り込みの文句」39.3%)
 - バーゲン・セール (38.9%「大売出し」35.4%)
 - ラッシュ (33.1%「混乱」32.6%)
- c. 要するに, B型の外来語はマス・コミ関係において多く使用される語で, 語意の周到的な詮索を必要とせぬままに使用され, 通じ合うところから, 通俗的誤用の無自覚的な受容にとどまるのであろう。
 d. D型に属する語の中, ビイドロを「笛」と解し, ヴィオロンを「たて琴」と解するのは, それぞれの楽器の擬声音から関連づけたものであろう。

(v) 和語・俗語について

- (1) 第二表・第四表およびB表・G表から, 和語・俗語の部分抽出してまとめなおすと, 次

のようになる。

(その一)

非正答率	90	80	70	60	50	40	30	20	10	未満	計
和・俗語数	9	22	32	38	42	49	60	90	93	180	615
百分比	1.5	3.6	5.2	6.2	6.8	8.0	9.8	14.6	15.1	29.3	100

(その二)

類型	A	B	C	D	E	F	計
和・俗語数	5	37	2	42	5	31	122
百分比	4.1	30.3	1.6	34.4	4.1	25.4	100

- a. 非正答率の高い語（わかりにくい語）から、非正答率の低い語（わかりやすい語）へと、順を追って語数が多くなっている。
- b. 非正答率の高い語の多くは、今日の社会で一般には用いられないものと認められ、非正答率の低い語は、今日普通に用いられるものがほとんどである。
- (2) 和語・俗語615語の中、生徒の50%以上が正しく理解していない語は143語、23%（B表・M表）で、その内わけは次の表のとおりである。

	語句	非正答率	語句	非正答率	語句	非正答率	数	平均%	
和語	鹿島立	88.9	馬手	75.8	うぶすな	64.6	19	73.1	
	大童	86.7	かわたれどき	75.2	袖乞	62.1			
	みお	86.3	歌枕	74.3	ことほぐ	60.1			
	おばしま	86.0	かこつ	73.8	雲上人	53.6			
	黒木	82.4	苔の衣	72.2	わたのはら	51.5			
	かし	81.7	あこぎ	69.0					
	しも	76.3	筒井筒	68.0					
ことわざ	二階から目薬	93.5	岡目八目	59.4	ごまめの歯ぎしり	54.9	6	67.8	
	いたちの道	88.9	うちまた膏薬	55.1	いすかのほし	54.7			
慣用語句	おどしゃをかける	91.7	里心がつく	65.1	つめばらを切らせる	57.0	24	64.5	
	メートルをあげる	82.6	鼻白む	64.7	みそをつける	56.4			
	角を出す	82.1	口をぬぐう	62.4	間尺に合わぬ	56.0			
	ちょうちんをもつ	80.6	色めく	62.4	横車を押す	53.6			
	襟につく	77.1	うけに入る	61.0	茶々を入れる	53.5			
	色を失う	74.5	味噌をす	59.5	半畳を入れる	51.0			
	きびすを返す	68.8	しんにゅうをかける	58.7	平仄が合わない	51.0			
	ごまをする	67.8	くだを巻く	58.6	さばをよむ	50.8			
しゃれ・軽口	ラジオ	89.1	他人井	73.0	白鼠	60.8	19	70.6	
	棕鳥	86.9	サイノロジー	72.7	二枚舌	57.5			
	ニコポ	86.1	赤ゲット	72.7	けとばし屋	55.2			
	ぐれはま	80.4	八木	71.8	かまとと	51.6			
	二本棒	77.8	甚六	68.8	アイス	51.5			
	口ハ	77.6	天神	68.0					
	かなぼうひ	73.9	千三	66.1					
俗語	(省略・第一表の(3)参照)							75	68.8

a. 平均非正答率から見て、最も理解の及ばないものは、「和語」と「しゃれ・軽口」である。最も低率のものは、「慣用句」と「ことわざ」である。俗語一般はその中間に位する。この表の範囲内では、現代用語として重要なものは、「慣用句」・「ことわざ」以外の部類にはごくわずかしかなないから、この部類が比較的低率であることは、生徒の年齢層としては順当な出来ばえというべきである。

b. 「和語」について。

これらの語の多くは、今後の国語学習において、修得する機会があるであろうが、現在は甚だ未熟である。「大童」を、86.7%の中、77%までが「あわてふためくこと」と解していることが注目される。これは、「髪を振り乱してわらわ髪になる」という本義を踏まえないうで、「大童になって防戦する」などの用例から気分的にとらえ来たった誤答であろう。本義の把握が不徹底であることの好例である。

c. 「ことわざ」について。

「二階から目薬」は、93.5%の中、54.9%が「不可能なことのたとえ」と答えているのは、ことわざとして理解しているのではなく、字義どおりに解して即物的な判断を下したものであろう。また、「まわりくどいことのたとえ」という正答が適切でないためでもある。「まわりくどい」は、「思うようにならない」とは解しにくく、「簡明直截でない」の意にとれるからである。

d. 「慣用句」について。

慣用句といっても、「おどしゃをかける」・「襟につく」・「鼻白む」などは、現代からは相当に疎隔した語であると思われる。

「メートルをあげる」が82.6%の高率を示しているのは、その79%までが、接近はしているがはずれの「酒を大いに飲むこと」と解したからである。

「ごまをする」は意外に出来が悪く、67.8%で、その中56.9%が「あいそよくする」と答えている。これは、正答の「おもねる」が古風で疎遠な語であるために理解できず、近縁的な誤答に誘導されたものと思われる。

e. 「しゃれ、軽口」について。

もともと、落語的なダジャレや川柳的なからかいの卑俗語であり、時代的にもずれているから、出来が悪いのは当然である。「ぐれはま」・「赤ゲット」・「天神髭」・「アイス」などは、明治時代の文学作品に接する場合には逢着することがあろう。今日、余ぜんを保っているのは、「かなぼうひき」・「甚六」・「千三つ」・「二枚舌」・「かまとと」ぐらいであろう。

f. 「俗語」について。

今日生きて用いられている語でありながら、高率を示しているものは、「あられもない」(91.9)・「きわ物」(88.4)・「げてももの」(87.9)・「狂言まわし」(84.0)・「屋台ばね」(80.0)等である。しかし、これらはすべてA型かB型に属する程度の、接近した理解には達している。

「あられもない」については、前述したが、語法的解釈の「似合わしくない」〔正答〕にくらべて、「つつしみが無い」〔誤答〕のほうが、一抹のうまみを含蓄していて、捨てがたいところがある。誤答の方には、「姫御前のあられもない」・「あられもない姿」など、実際の用例に即応したニュアンスがあるのに対して、正答は語釈としては正しくても、抽象的であるために、被修飾体や場面の性質を限定し得ていないうらみがあるからである。これは外来語のB型誤答にも見られるところであるが、通俗的誤用・転用の、反面の長所

であり、誤用・転用が増大してゆく要因となるものであろう。

「山の手」(57.7%)の誤答の大部分が「住宅地帯」であるのもこのたぐいである。正答は「高台地帯」であるが、この表現が、無人の境をさすかのようなそっけなさがあるのに対して、誤答は、通俗的誤用とは言いながら、実状に即した血のかよいが感じられる。両者を結合させたものをもって正解とすべきである。

「屋台ぼね」に対して、「主人」と答えたものが多かったのは、この語の用法は知っているが、正解の「身代」が古風な語であるため、その読みかたや意味がわからなかったためであろうと思われる。

- (3) 非正答の類型では、D型が最も多く、122語中、42語(34.4%)で、B型37語(30.3%)がこれに雁行している。B型の%は、外来語の $\frac{1}{2}$ であるが漢語の2倍である。この点からも、全体の理解度が、外来語・和語俗語・漢語の順であると言える。

〔A型の代表例〕

○色を失う(74.5%中、「あわてふためく」が67.2%、正答は「驚きおそれる」)

○屋台ぼね(80.0%中、「主人」が50.3%、正答は「身代」)

〔B型の代表例〕

○げてももの(87.9%中、「ひどく粗末な器物」が82.2%、正答は「大衆的な質朴な器物」)

○メートルをあげる(82.6%中、「酒を大いに飲む」が79.1%、正答は「氣勢をあげる」)

○大童(86.7%中、「あわてふためくこと」が77.0%、正答は「けんめいに働くこと」)

○あられもない(91.9%中、「つつしみが無い」が73.3%、正答は「似合わしくない」)

○山の手(57.7%中、「住宅地帯」が56.9%、正答は「高台地帯」)

○ごまをする(67.8%中、「あいそよくする」が56.9%、正答は「おもねる」)

○狂言まわし(84.0%中、「滑稽なしぐさで笑わせる人物」が55.6%、正答は「劇の進行に終始必要な登場人物」)

○二階から目薬(93.5%中、「不可能なことのたとえ」が54.9%、正答は「まわりくどいことのたとえ」)

〔C型の代表例〕

○口過ぎ(88.2%中、「おしゃべり」が58.2%)

〔D型の代表例〕

○角を出す(82.1%中、「じがねを現わす」が63.5%)

○めくら暦(90.3%中、「一枚ずつめくる暦」が63.4%)

○ラジオ(89.1%中、「おしゃべり」が63.0%、正答は「無銭飲食」)

○赤つら(73.3%中、「道化役」が61.0%)

○第五列(91.9%中、「あぶれたもの」が57.2%)

○きびすを返す(68.8%中、「急に態度をあらためる」が52.6%)

○里心がつく(65.1%中、「人間の愛情がわかるようになる」が51.2%)

〔E型の代表例〕

○椋島(86.9%中、「気取り屋」が52.9%、正答は「いなか者」)

○せちがらい(47.9%中、「ひどくそらぞらしい」が39.8%)

〔F型〕

122語中31語(25.4%)。無答だけで50%を越すものはなく、1語の例外を除いて、その他は全部、無答と誤答を合わせて50%以上になるものばかりである。すなわち、N表の範囲

内に属するものばかりである。例外の1語は「鬼の霍乱」で、45.5%の中、無答が34.5%である。

(八) 反省と今後の課題

(イ) 本調査の資料とした語彙は、概して、古めかしい俗語・慣用句・故事成語などの多いのに比して、教科書などに頻出度の高い、近代的な知的用語——抽象概念語が少ないうらみがある。したがって、クイズの興味から語彙への関心を高めはしたが、直接生徒の読解や教養に役立つ学習の効果はあまり大きくなかったように思う。今後は、この種の語彙の集録とその把握度をはかることを考えたい。

(ロ) 選択肢の与えかたや表現の巧拙によって、出来ばえが大きく左右されていることが注目される。正答は他の選択肢と比較して最良というだけでなく、それ自体として完全であるように、十分意を尽くしたものでなくてはならないし、誤答も多義に解せられないように、厳密に限定されたものでなくてはならない、ということが反省させられる。

また、選択法の客観テストになれている当今の生徒の心理傾向として、直訳的・語法的正解を野暮と考え、転用や拡大解釈の方を気のきいた受け取りかたであると勘ぐる場合が多いことも考慮しなければならない。

(ハ) B型誤答の多いところから見て、教授者は的確な語釈をおろそかにすべきではない。その場限りの意識や便宜的な注解が、生徒の言葉に対する省察を妨げ、安易な理解にとどまらせていることがないとは言えない。

(ニ) ① B型誤答を提示して「これを正しい解釈になるように改めよ」と、記述法でパラフレーズさせること。

② 近似的な語群を多く挙げて、その中から一語を識別して文中の空欄に適用させること。

③ 所与の語彙を用いて、それぞれ短文を作らせること。

などの方法によって、語義への省察を深めさせることが、今後の課題として残されている。